

デیلیー・ジーザス・ニュース #197

エルサレム奉獻祭におけるイエスの宣教

イエスはエルサレムへ旅しながら教えを説く

ルカ13.22-30

22 それからイエスは町や村を巡り、教えながらエルサレムへ向かわれた。23 ある人がイエスに尋ねました。「主よ、救われるのはほんの少数の人だけでしょうか？」

イエスは彼らに言われた。24 「私はあなた方に命じます。狭い門から入るために絶えずあらゆる努力をなさ。なぜなら、あなた方に言いますが、入ろうとする者が多くいますが、入ることができないからです。

25 家の主人が立ち上がって戸を開けると、あなたたちは外に立って戸をたたき、『ご主人様、戸を開けてください』と懇願するでしょう。

しかし彼はこう答えるでしょう。『私はあなたを知らないし、あなたがどこから来たのかも知らない。』

26 「そのとき、あなたたちは言うでしょう、『私たちはあなたたちと一緒に食べたり飲んだりしましたし、あなたは私たちの街路で教えました』と。

27 しかし彼はこう言うでしょう。『私はあなたたちを知らないし、あなたがどこから来たのかも知らない。悪を行う者たちは皆、私から離れ去れ！』

28 「あなたたちは、アブラハム、イサク、ヤコブ、そしてすべての預言者たちが神の王国にいるのに、自分たちは外に追い出されているのを見て、そこで泣き叫び、歯ぎしりするであろう。」

29 「人々は東から西から、北から南から来て、神の国の宴席に着くであろう。30 実に、最後の者が先になり、最初の者が最後になることもある。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

| | |
|--------|---------------------|
| 位置 | ユダヤのどこか、エルサレムへの道の途中 |
| タイムライン | 12月上旬 (35ヶ月目) |

デイリー・ジーザス・ニュース #197

| | |
|-----------|-------------------------|
| イエスの生涯の文脈 | 第六段階：イエスの後期ユダヤ宣教 |
| | E.エルサレム奉獻祭におけるイエスの宣教 |
| タイトル | 1. イエスはエルサレムへ旅しながら教えを説く |

コメント：

この聖句は、イエスがユダヤ地方を巡る秋の巡礼で、町から村へと旅をしていたことを示しています。12月、イエスはエルサレム奉獻祭に出席するために再びエルサレムへ向かうことで、巡礼を終えようとしていました。

イエスと120人ほどの弟子たちの大集団が旅の途中、適切な質問を受けました。

「主よ、救われるのはほんの少数の人々だけでしょうか？」

この問いかけは、ほとんど理論的なものに聞こえます。それは全体像を問うものです。世界の大多数の人々は救われるのでしょうか、それとも失われるのでしょうか？救われる人と失われる人の割合はどれくらいになるのでしょうか？

イエスはこの問いに直接答えることはしませんでした。イエスは問いを一人ひとりの人生へと向け直しました。重要なのは、この世で救われた人と救われていない人の比率ではなく、一人ひとりが救われたかどうかです。救われた人の数に関する統計は、私たち一人ひとりが救われていないのであれば意味がありません。心臓発作で死なない人の数に関する一般的な統計も、心臓発作で亡くなる人にとっては意味がありません。個人の救いに関して重要なのは、他人ではなく、私たちに何が起こるかという統計だけです。

、「**狭い門から入りなさい**」という戒めを常に最優先にするよう命じられました。イエスご自身が「門」なのです。今日の世界には救いについて様々な意見があり、救いを得る方法についても無数の考えがあります。イエスだけが門であるがゆえに、他の方法はすべて失敗する運命にあるのです。

イエスはすべての人に、自分との信仰関係を通してのみ救いを経験できると告げていました。それゆえ、イエスは、自分との交わりを追求することを、継続的で真剣で断固とした探求の目標とするよう命じたのです。

悲しいことに、ほとんどの人はイエスのこの戒めを無視しています。その結果は悲劇的です。私たちが死んで神の御前に行き、裁きを受ける時、結果を変えることはもうできません。イエスとの関係という「扉」に入る機会は閉ざされ、救われるにはもう遅すぎるのです。

この短いたとえ話は、イエスからの厳粛で重大な警告を伝えています。私たちは皆、それに従って行動する必要があります。

応用：

デイリー・ジーザス・ニュース #197

もしあなたがすでにイエスを救いへの「扉」として信じているなら、他の人々にイエスへの信仰を教えることを最優先にすべきです。人々がイエスを信じるには、イエスが自分の救いのために何を語り、何をしてくださったかを知る必要があります。

あなた自身はもう救いの「扉」に入りましたか？

個人伝道を通して他の人にイエスのことを知ってもらうために、もっと効果的に何ができるでしょうか？